

1 シートのイベント

シートには、次のようなイベントがあります。

●主なシートのイベント

イベント	発生条件
SelectionChange	シートでセルの選択範囲を変更したとき
Change	シートのセルの値を変更したとき
BeforeDoubleClick	シートのセルをダブルクリックしたとき
BeforeRightClick	シートのセルを右クリックしたとき
Activate	シートがアクティブになったとき

2 セルの選択範囲を変更したときの処理

「SelectionChangeイベント」はセルの選択範囲を変更したときに発生します。

変更したあとに選択されているセルは、「Worksheet_SelectionChange」イベントプロシージャのRange型の引数Targetに渡されます。引数Targetを使って、変更したあとに選択されているセルを操作できます。

引数Targetの前に記述されている「ByVal」は、イベント発生時に取得したセルのコピーを引数に渡すことを意味しています。

```
Private Sub Worksheet_SelectionChange (ByVal Target As Range)
    セルの選択範囲を変更したときに実行する処理
    引数Targetを使った処理
End Sub
```

	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			

①セルの選択範囲を変更すると、SelectionChange イベントが発生する

②「Worksheet_SelectionChange」イベントプロシージャが実行される

```
Private Sub Worksheet_SelectionChange (ByVal Target As Range)
    End Sub
```

③このとき、引数Targetには、変更したセル範囲 [B2:C3] のコピーが渡される

SelectionChangeイベントを利用し、セル範囲【D5:E14】内のセルを選択したときに現在の時刻を自動的に入力するイベントプロシージャを作成して、動作を確認しましょう。

※VBEに切り替えておきましょう。

■「Worksheet_SelectionChange」イベントプロシージャ

1. Private Sub Worksheet_SelectionChange (ByVal Target As Range)
2. Dim Myrange As Range
3. Set Myrange = Application.Intersect(Target, Range("D5:E14"))
4. If Not Myrange Is Nothing Then Myrange.Value = Time
5. Set Myrange = Nothing
6. End Sub

■プロシージャの意味

1. 「Worksheet_SelectionChange (引数Targetは選択したセル範囲)」イベントプロシージャ開始
2. Range型のオブジェクト変数Myrangeを使用することを宣言
3. オブジェクト変数Myrangeに、引数Targetが参照するセル範囲とセル範囲【D5:E14】の共有セルへの参照を代入
4. オブジェクト変数MyrangeがNothingでない場合(共有セルが選択された場合)は、現在の時刻をオブジェクト変数Myrangeが参照するセルに入力
5. オブジェクト変数Myrangeを初期化
6. イベントプロシージャ終了



POINT ▶▶▶

Intersectメソッド

「Intersectメソッド」は、2つのセル範囲が共有するセルを返します。

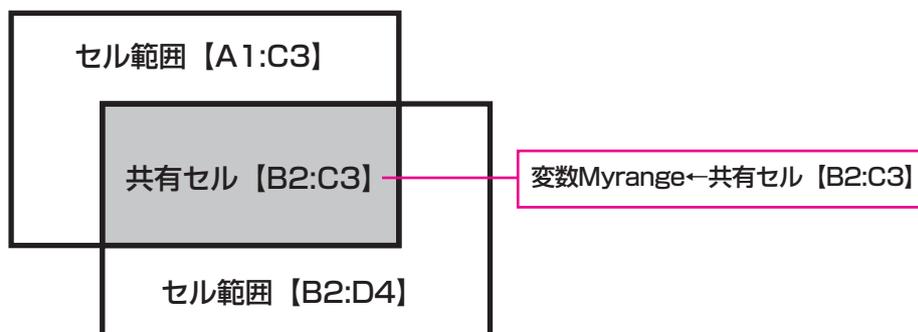
■Intersectメソッド

引数Arg1と引数Arg2に指定したセル範囲の共有セルを返します。Intersectメソッドは、Applicationオブジェクトに対して使います。

構文 Applicationオブジェクト.Intersect(Arg1, Arg2, ...)

例:セル範囲【A1:C3】とセル範囲【B2:D4】の共有セルへの参照をオブジェクト変数Myrangeに代入する

```
Set Myrange = Application.Intersect(Range("A1:C3"), Range("B2:D4"))
```



※Intersectメソッドの引数には、30個までのセル範囲を指定できます。

※共有セルがない場合は、Nothingを返します。

1

2

3

4

5

6

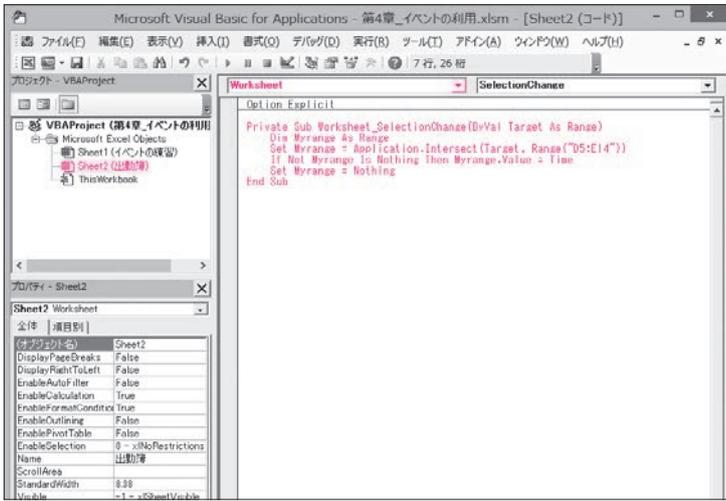
7

8

総合問題

解答

索引



- ① プロジェクトエクスプローラーの《Sheet2 (出勤簿)》をダブルクリックします。
 - ② 《オブジェクト》ボックスの▼をクリックし、一覧から《Worksheet》を選択します。
 - ③ 「Worksheet_SelectionChange」イベントプロシージャが作成されます。
 - ④ 「Worksheet_SelectionChange」イベントプロシージャの内容を入力します。
- ※コンパイルし、上書き保存しておきましょう。

出勤簿					
No.	社員	出勤時刻	退社時刻	実習	SelectionChangeイベントの利用
1	上村 一宏				セル範囲【D5:E14】内のセルを選択したとき、選択したセルに現在の時刻を入力しましょう。
2	石原 秀憲				
3	川野 祐樹	8:52:17		Let's try	Changeイベントの利用
4	谷口 恭寛	8:52:17			セル【E3】に値を入力したとき、日付かどうかチェックしましょう。
5	澤志田 和明	8:52:17			
6	東 照也	8:52:17		実習	BeforeDoubleClickイベントの利用
7	藤井 久子	8:52:17			セル範囲【D6:E14】内のセルをダブルクリックしたとき、ダブルクリックしたセルに「休み」と入力しましょう。
8	内藤 美千代			Let's try	BeforeRightClickイベントの利用
9	坂内 由起子				ワークシート上で右クリックしたとき、出社人数をカウントして表示しましょう。
10	下田 礼也				

- プロシージャの動作を確認します。
- ④ Excelに切り替えます。
 - ⑤ シート「出勤簿」を選択します。
 - ⑥ セル範囲【B7:D11】を選択します。
- セル範囲【D7:D11】に現在の時刻が入力されます。

POINT ▶▶▶

共有セルが選択されたときの処理

Intersectメソッドを利用すると、イベントプロシージャを実行させるセル範囲のセルが選択されたかどうかを確認できます。この実習では、Intersectメソッドを使って、選択したセル範囲(引数Target)とセル範囲【D5:E14】の共有セルを求め、共有セルに現在の時刻を入力しています。

また、選択したセル範囲(引数Target)とセル範囲【D5:E14】の共有セルがなかった場合はNothingを返します。このとき現在の時刻は入力されません。

イベントが発生する
↓
範囲1は範囲内にある
↓
範囲1は共有セル
↓
範囲1に対して処理が発生する

イベントプロシージャを実行させるセル範囲
(セル範囲【D5:E14】)

ユーザーが選択した範囲1
(引数Target)

イベントが発生する
↓
範囲2は範囲外にある
↓
範囲2は共有セルでない
↓
処理は発生しない

ユーザーが選択した範囲2
(引数Target)